

企画部企画課の取組

今年度、東京都教職員研修センターでは、「経験や職層に応じた研修」と「教員の専門性を高める研修」をはじめ数多くの研修を実施しました。研修内容は多岐にわたり、講座数は300を超え、受講者数はのべ27,000人を超える規模となっています。先生方が自らの指導力向上や学校の教育課題の解決を図るために熱心に受講していただいている姿に接し、今後とも区市町村教育委員会及び都立学校と連携し、研修の円滑な実施と研修内容の一層の充実に取り組んでまいりたいと思います。次年度の「研修案内」はすでに2月下旬に各学校あてにお送りしています。研修計画を立てる際に参考にさせていただき、次年度も今年度以上に多くの先生方の研修参加をお待ちしております。

また、通常の研修参加以外にも、教職員研修センターの事業として、「都教委訪問」や「東京都教育実践発表会」等も積極的に御活用いただければ幸いです。

<都教委訪問>

都内公立学校及び区市町村教育委員会等からの申請を受けて教育庁指導部、多摩教育事務所及び教職員研修センターの指導主事等を派遣し、学校教育の今日的課題についての研究・研修に関する指導・助言を行うことで、学校等が抱えている諸課題の解決を支援する事業です。

<東京都教育実践発表会>

東京都公立学校等における優れた教育実践や特色ある教育活動を、講演やシンポジウム、展示等を通して紹介する事業です。平成28年度は10月1日（土）に開催します。

東京都教職員研修センター企画部 企画課長 酒井 泰

研修部教育開発課の取組

東京都教職員研修センターでは、東京都の喫緊の教育課題に対応した教育課題研究を進めています。教育課題の解決に資する研究を行い、教員の指導力の向上を図るための実践的な研究を充実させ、その成果を研修に活用するとともに、教育情報の提供を推進していくことは、教職員研修センターの重要な役割の一つです。

今年度は、「多様な教育課題に対応したカリキュラムモデルの開発」、「基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させる指導の工夫」、「変化の激しい時代を生き抜く能力の育成」『特別の教科 道徳』の趣旨を踏まえた指導と評価の在り方」、「ICTを活用した指導法に関する研究」の5本の研究に取り組みました。これら5本の研究については、2月の教育課題研究発表会で発表・報告しました。本号の後半で、各研究の概要と発表会の様子を紹介しています。

教育課題研究の成果は学校で活用されてこそ、真に意義あるものになります。これまでの研究成果は、教職員研修センターのホームページに掲載していますので、自身の授業改善や校内研究に是非生かしていただきたいと思います。

さらに、教職員研修センターに1年間派遣されている教員研究生が、自身の課題意識に基づき、授業改善に資するために、自ら研究テーマを設定して行った「カリキュラム開発研究」についても、ホームページに掲載していますので、御活用ください。

なお、次年度は、「子供一人一人の『分かり方の特性』を生かした指導法の工夫」、「変化の激しい時代を生き抜く能力の育成(二年度)」、「幼稚園5歳児の運動能力に関する調査」等の研究を進める予定です。教職員研修センターでは、今後も国の動向等をおさえながら、学校で十分に生かすことができる実践的な研究を進めていきます。

東京都教職員研修センター研修部 教育開発課長 相原 雄三